

ヨコハマシジラガイ

Inversiunio jokohamensis (Ihering)

イシガイ目イシガイ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

水路の改修工事により生息環境が悪化しているため。

形態

類似のマツカサガイと比較すると、殻頂付近に顆粒状の模様があり、後背縁の放射状模様は不明瞭。しかし、殻の表面が摩耗した個体では区別が困難なことがある。

国内分布

山陰地方・近畿地方東部から北海道南部。

県内分布

邑知潟周辺、志賀町（志賀地区）、珠洲市。

生態

水路の砂泥底に生息する。

生息地の条件

生貝が潜る砂泥底と幼生が寄生する魚類（ハゼ類など）の存在が条件。

生存の危機

水路の改修工事による砂泥底の消失。外来魚の侵入により幼生の寄主となる魚類がいなくなること。
(A, C)

参考文献

石原一彦 2008. 石川県邑知潟周辺の水路で見られるイシガイ類（予報）. ちりぼたん. 39 (1) : 55-56. (淡水貝類研究会第13回研究集会講演要旨).

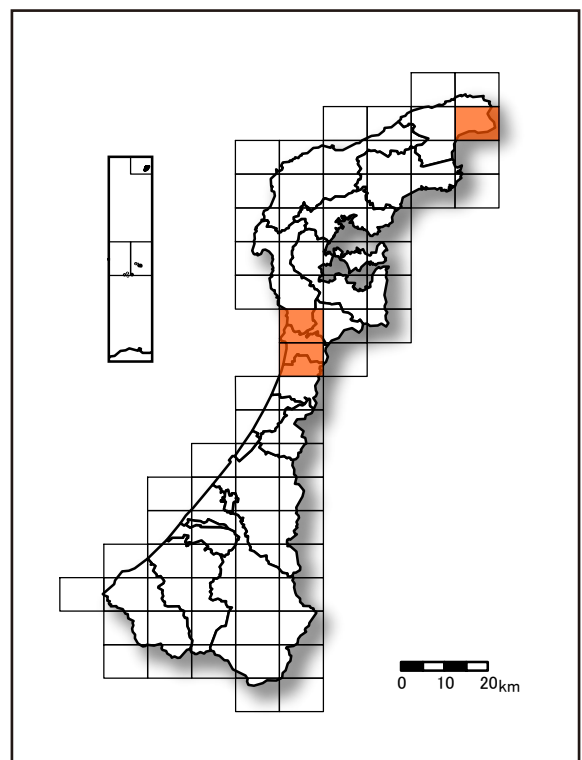
Kondo, T. 1998. Revision of the Genus *Inversiunio* (Bivalvia : Unionidae). VENUS. 57 (2) : 85-93.

近藤高貴 2008. 日本産イシガイ目貝類図譜. 日本貝類学会特別出版物第3号. 69pp. 日本貝類学会

増田修・内山りゅう 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類. 240pp. ピーシーズ. 東京.



写真提供者: 石原一彦



県内の分布